

麺がゆでられたよ



ラーメンください

ラーメン100円です



### エピソード

作品展の共同製作の1つとしてつくったラーメン屋。「ラーメン屋で遊びたいな」「みんなに買いに来てほしい」と、園庭にお店がオープンしました。友達と一緒にダンボールでつくった店や机を置いて、売り場と料理場を整えました。Aくんが「いらっしゃい、いらっしゃい。ラーメンありますよ」と、店から顔を出して大きな声で呼びかけます。料理場ではBくんが手づくりの湯切りザルに麺（緩衝材）を入れて、湯を切るように手を上下に振ったり、Cちゃんが画用紙でつくったネギや卵を盛り付けたりしています。そこへDちゃんが「塩ラーメンください」Eちゃん「味噌ラーメンがいいです」と、客になって来ました。Aくんは「塩ラーメンと、味噌ラーメンです」と注文を受け、Bくん、Cちゃんに伝えました。Bくん「はい、塩ラーメンと味噌ラーメン1丁」、Aくんが「100円です」とラーメンを手渡すと、D・Eちゃんは「ありがとう」と嬉しそうに受け取り、その場で食べました。保育者「ネギがたっぷり入っているね。食べると温まるね」と声をかけると、「おいしいよ」と笑みがこぼれました。

Cちゃん「お金もいるんじゃない」と、四角や丸い形にダンボールを切ってマジックで数字をかいたり、他児も店の看板に値段をかいたりする姿も見られ、「このお店安いね」と、たくさんの友達が来店し、大繁盛となりました。

### 保育者の思い

- ・「自分達が作品展で工夫してつくったラーメン屋で遊びたい」「買いに来てほしい」という子ども達の思いが実現するように、共同製作でつくったラーメン屋や机を遊びの場の近くに用意しました。
- ・ラーメンを通して子ども同士のやりとりが生まれたり、臨場感や心温まる気持ちを感じられたりするといった思い、声をかけました。

### 家庭だったら・・・

友達と一緒に遊びの場を整える姿が見られました。自らつくった遊びの場には、子どもがイメージする世界やワクワク感、安心感がたくさんつまっています。ご家庭でも生活や遊びの場を子ども達と一緒につくってみてください。その経験が身の回りを整えようとする力や進んで活動する力になるのではないのでしょうか。

### 子どもの育ちや学び

- 作品展の共同製作でつくったラーメン屋を遊びに取り入れたり、売り場や料理場をイメージしながら店や机を置いたりして、遊びの場を整えています。
- 生活経験を活かしながら、料理をする人や売る人、客など、役割分担をして遊んでいます。
  - ・料理をする時の動作や、注文を受ける、ラーメンの受け渡しする時の言葉のやりとりなど、店員や客になりきっています。
- 遊びに必要なものを考え、お金を素材でつくっています。お金や看板に値段をかく姿から、数への興味も出てきています。
- 作品展でつくったラーメン屋をたくさんの方に見てもらったことで喜びを感じ、さらに使って遊ぶことで満足感を味わっています。